

吉岡中学校 職場体験

働くことの意義や社会生活のルール・マナーを身につけるため、吉岡中2年生の職場体験が実施されました。役場には8月28・29日に3人の生徒が訪れ、チラシの梱包や林道の巡回などの業務を体験しました。このページは、3人が「広報係」として役場職員に取材し、実際に原稿の作成・誌面のレイアウトを行ったページです。



宮崎 一樹さん

都所 侑平さん

小谷野香凜さん



吉岡町の人々のために

私は、地方創生に関わる仕事をしています。地方創生とは、東京への人口の集中を防ぎ、地方に人が増えるようにする取り組みです。総合計画の作成もしており、作成にあたってはアンケートをとって、町民の皆さんの意見を取り入れた計画になるようにしています。国や県からの調査依頼が多いので、きちんと調べて期限内に報告できるようにしています。



総務政策課 政策室
宮下 優也 主事



上下水道課 上水道室
南雲 克也 主任

安心して暮らせる町に

私は、飲み水に必要な水道管の工事に携わっており、生活に大きく関わる仕事をしています。1日の流れは、工事に関する書類作りや、工事現場に行き確認作業を行います。現場では、掘って初めて分かることがあるので、作業に時間がかかることが多いです。一年中忙しいのですが、特に工事が立て込む年度末は忙しいです。

学校を支える

学校教育室の仕事は、学校組織をさらに下から支えるような仕事です。学校や保護者からの相談に応じ、事務処理などを行っています。特に気をつけているのは、事務処理の間違いが起こらないようにすること、個人情報情報が漏れないようにすることです。また、私は去年まで学校の教員をしていたので、今は町の職員としての行動を心がけています。



教育委員会事務局 学校教育室
山崎 栄寿 室長



財務課 税務室
渡部 英之 室長

税金の計算に間違いがないように

税務室の仕事は、町民の皆さんの税金を計算して、納めてもらうことです。1年間のうち、1～6月には住民税の課税を行い、さらに2・3月には確定申告も行うため、忙しくなります。一人一人の所得などをもとに課税を行うので、個人情報の取り扱いには特に気をつけています。税法の改正にも対応していかなければなりません。

使いやすい道路を

用地管理室では、町民の皆さんが使う道路や田んぼに流れる水の管理をしています。急に現場に行き対応したりするので、1日の決まったスケジュールはありません。6～9月ごろには田んぼの水を確認し、貯水池の除草もするため、忙しくなります。気をつけていることは、町民の立場に立って仕事をすることです。



産業建設課 用地管理室
深谷 智洋 室長

職場体験を終えて

私は広報作りを通して、吉岡町役場の方々がどのようにして吉岡町を支えているのか学ぶことができました。それぞれの仕事がどれも大切だということが分かりました。インタビューをするときは、最初は緊張していましたが、周りの方々のおかげで、最後は楽しく質問することができました。職場体験で、役場のことを知ることができた。いい機会になりました。

宮崎 一樹さん



私は、職場体験を通して、「働く事の大変さ」について知りました。インタビューした人達も、そうでない人たちも、真剣に取り組んでいる様子が見え、それが良かったです。特に、学校教育室の山崎室長が学校に多く関わっており、興味深い話をたくさんしていただきました。職場体験を通して役場がどんなことをしているか知ることができました。

都所 侑平さん



職場体験学習を通して、初めて経験することがたくさんありました。チラシ梱包や、郵便物の仕分け、林道に関する仕事、広報づくりなどを体験させていただき、学校では学べないことを学ぶことができました。広報の取材体験では、仕事の詳しい内容から、今まで知らなかった吉岡町のことも学ぶことができました。このような貴重な体験は、私にとってとても有意義な職場体験学習となりました。

小谷野 香凜さん

